

2014年6月16日

米国におけるメタクリル酸メチルモノマー製造・販売に係る合弁事業に関する
基本合意について

三菱レイヨン株式会社
三井物産株式会社

三菱レイヨン株式会社（本社：東京都千代田区、社長：越智仁、以下「三菱レイヨン」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）は、米国でメタクリル酸メチル（MMA）モノマー製造・販売事業（以下「本計画」）を行うための詳細検討を開始することで合意し、合弁会社設立に向け、このたび覚書を締結しました。合弁会社へは、三菱レイヨンが過半の出資を行う予定です。

また、三菱レイヨンと三井物産は、米国 The Dow Chemical Company（本社：ミシガン州ミッドランド市、以下「ダウケミカル」）との間で、ダウケミカルから三井物産を経て両社が設立する合弁会社への一部原料の供給及び合弁会社からダウケミカルへの製品の一部販売の検討に関し、3社間で基本骨子の合意に達し、覚書を締結しました。

本計画は、三菱レイヨングループが持つ新しい MMA モノマー製造技術である「新エチレン法（アルファ法）」と、三井物産が有する海外企業とのネットワークを含む総合力を結集し、米国において、シェールガス・オイル革命を背景とした競争力の高い MMA モノマー事業を実現することを企図しています。合弁会社は、ダウケミカルが米国湾岸地区に展開するエチレン製造供給網からエチレンを取得し、また、製品の一部をダウケミカルに販売することを計画しております。本計画では、2018 年末から年産 25 万トン規模の MMA モノマー生産設備の稼働を目標としています。

MMA モノマーは、自動車のランプカバー、看板、水族館の水槽、液晶ディスプレイ用バックライトの導光板、塗料、建材などに用いられるアクリル樹脂の原料で、世界需要は 300 万トンを超えており、今後も安定的な伸長が見込まれています。

米国 MMA モノマー生産設備について

1. 生産能力 25 万トン／年（予定）
2. 建設場所 米国（詳細な建設場所は未定）
3. 総投資額 未定

[本件に関するお問合せ先]

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 山本拓嗣 電話：03-6748-7140
三井物産株式会社 広報部 喜田敬太郎 電話：03-3285-7562